

別紙【1】

「3. 研究遂行能力 外国での研究遂行能力について（語学能力の確認）」欄に記載すべき項目

「研究活動における主な使用言語」で記入した全ての言語について、外国で研究活動を行うにあたり相応の語学能力を有することを以下に示す「客観的に判断できる指標の例」等を用いて具体的に説明してください。

【客観的に判断できる指標の例】

- ・主な使用言語の語学検定試験結果（試験名称，取得年月も記入すること。）
- ・国際学会における，主な使用言語での発表経験の有無，回数
- ・主な使用言語での論文執筆経験の有無，数
- ・主な使用言語圏への留学経験の有無，内容
- ・主な使用言語の日常的な使用頻度
 - 〔 ・研究室で日常的に使用している
 - 〔 ・主な使用言語を用いてフィールドワークを行っている
 - 〔 ・主な使用言語を用いて共同研究を行っている 等
- ・その他，相応の語学能力を有しており，外国での研究活動に支障がないことの客観的な根拠

「4. (2)研究成果等」欄に記載すべき項目

以下の①～⑥について，申請者が中心的な役割を果たしたもののみに項目に区分して記載してください。

その際，通し番号を付すこととし，該当がない項目は「なし」と記載してください。論文数，学会発表等の回数が多くて記載しきれない場合には，主要なものを抜粋し，各項目の最後に「他〇報」等と記載してください。

- ① **学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文，著書（査読の有無を区分して記載してください。査読中又は投稿中の場合にはその旨分かるように明記してください。）**
著者，題名，掲載誌名，発行所，巻号，pp 開始頁－最終頁，発行年を記入してください。
- ② **学術雑誌等又は商業誌における解説，総説（①と同様に記載してください。）**
- ③ **国際会議における発表（口頭・ポスターの別，査読の有無を区分して記載してください。）**
著者，題名，発表した学会名，論文等の番号，場所，月・年を記載してください。発表予定のものも含めて構いませんが，発表予定である旨明記して記載してください。
- ④ **国内学会・シンポジウム等における発表（③と同様に記載してください。）**
- ⑤ **特許（申請中，公開中，取得を明記してください。ただし，申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述で構いません。）**
- ⑥ **その他（受賞歴等）**